1/4 被保険者(申請者)記入

記入例

		記号番号	生年月日
被保険者情報	被保険者の 記号・番号	1 1 4 1 1 2 3 4 5 6	日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
報	氏名·印	サカイ タロウ 堺 太郎	電話番号 080-1111-2222
	住所	(〒 1 2 3 − 4 5 6 7) ○○県△△市□□ 1−1−1	
振込先指定口座	金融機関 名称	世ツコシ (農協) (漁協) (その他) ()	サカイ (本原) (支所) (支所)
定口座	預金種別	☑ 普通 □ 別段 □座番号 □ 当座 □ 通知	1 2 3 4 5 6 7
	口座名義	▼カタカナ(姓と名の間は1マス空けてご記入ください。) サ カ イ ハ ナ コ	□ 被保険者 □ を
		代理人の場合は必	ひず「受取代理人欄」に記入・押印をしてください。
	受 被保険者 取 氏名·印		す。 令和 6 年 12 月 20 日 (住所) 「被保険者(申請者)情報」の住所と同じ
	人欄	〒 123-4567 住所 〇〇県△△市□□ 1-1-1	委任者と 代理人との 関係
	(口座名義 の情報	^{K3}	電話番号 080-3333-4444

申請書は2枚目に続きます。>>>

健保組合使用欄

	1建1木組1	5)	
常務理事	事務長	担当	担当
-	この欄は記	入不要です	0

2/4 記入例

申			1)	手首骨折								令和	6 年	4 月	1	日	
申請内容	1	傷病名	2)							発病また 負傷年月		令和	年	月		日	
容			3)									令和	年	30		日	
	3	該当の傷病は病気(タ	疾病)	ですか、ケガ(負傷)	ですか。	2	1.病気 2.ケガ			の状況)	ナ ≕ t≡	昆出ください	`				
	4 ;	療養のために休んだ	期間((申請期間)		(令和) 0	6 0	月 4 C	B 0	から	CCTA	日数	<u> </u>	30		日	I間
		あなたの仕事の内容 (退職後の申請の場			¥)					引起	述作:	業員					
確認事項	1			んだ期間(申請期間) たは今後受けられま			はい	✓ い	ハえ								
事項			支払(と場合、その報酬の額の基礎となった(なる ください。		令和 令和	年		月月		日日	から まで	報酬額				円
	2	「障害厚生年金」ま 受給していますか。 どちらを受給してい	受給	している場合、		3	1.はい 2.請求ロ 3.いいえ		\rightarrow		章害厚 章害手	生年金					
		受給の要	因とな	請求中」と答えた場 なった(なる)傷病名』 をご記入ください。		傷病名 基礎年 金番号						年金 コード					
				えた場合は、傷病名 号をご記入ください。		支給開始 年月日	□昭和 □平成 □令和	年		月	日	年金額				F	円
	3	老齢または退職を事	由とす	た方はご記入ください。 る公的年金を受給して の名称をご記入ください。	いま	3] 1.はい 2.請求「 3.いいえ	_þ L	→	名称							
				「請求中」と答えた場 等をご記入ください。		基礎年 金番号						年金コード					
				えた場合は、傷病名 号をご記入ください。		支給開始 年月日	□昭和 □平成 □令和	年		月	日	年金額				F	"
	4	今回の申請は労災 受けている期間のも					はい 労災請す	✓ いし	ハえ								
				(請求中」と答えた場合 基準監督署をご記入く										—— 党	働基	準監督	濖
	5	介護保険サービスで 受けたとき	*	保険者 番号			被保険 者番号		_			保険者 名称					_

「事業主記入用」は3ページに続きます。>>>

3/4 事業主記入用

記入例

労務に服さなかった期間を含む賃金計算期間の勤務状況および賃金支払状況等をご記入ください。

事業	被保	:険者氏	名																		
業主が	勤務	状況	【出	勤はの	0]で、	【有糸	合は△]で、	【公休	*は公】	で、[(欠勤)	は/】	でそれ	ぞれ表え	たしてく	ください	١,		出勤	有給
証	令和	年	月	1 2	2 3 4 5	6 7 8	3 9 10	11 1	2 13	14 15	16 17	18 19	9 20 2	1 22 23	24 25	26 27	28 29	30 31	計	B	B
明すると	令和	年	月	1 2	2 3 4 5	6 7 8	3 9 10	11 1	2 13	14 15	16 17	18 19	9 20 2	1 22 23	24 25	26 27	28 29	30 31	計	日	B
ところ	令和	年	月	1 2	2 3 4 5	6 7 8	3 9 10	11 1	2 13	14 15	16 17	18 19	9 20 2	1 22 23	24 25	26 27	28 29	30 31	計	日	B
•											月給		□時間	間給			締	B			日
		の期間! を支給し			す)か?		はい ハいえ	給与	手の種	類 □		目給	□歩台		賃金	計算	支	払日	口当		日
	上記	の期間	を含む	賃金計	†算期間	の賃	金支約	合状涉	でご記	記入くだ	さい。								<u>:</u>		
			期	間	単	価		月 ~	日月	日分		月 ~	日月	日分	月 ~	日月	日分			†算方法(欠勤 等)についてご言	
	支給	区分					支給額			支給額			支給額								
	した	基本	給																		
	へ す	通勤]手当		٦	<u>ග</u>	%		<u>ジ</u>	は当	当糸	且台	<u>計</u>	こて	使月]す	る	欄な	10	りで	
	る)賃	住居	手当		_記	.人	(D)	业	要	は	<u></u>	ざし	<u>ج ر</u>	きせ	ん。						
	金内	扶養	手当																		
	訳			手当																	
	-			手当																	
		現物	給与																		
			計																		
	上記	のとおり	相違な	こいこと	とを証明	lする。	0			令和			年		月		B	担当氏	者 名		
	事業	所所在均	地																		
	事業	所名称												F							
	事業	主氏名														ŧ	話		()	

「療養担当者記入用」は4ページに続きます。>>>

4/4 療養担当者記入用

記入例

療養	患者氏名														
担当		(1)							(1)	令和	年			月	日
療養担当者が意見を記	傷病名	(2)						療養の給付 開始年月日 (初診日)	(2)	令和	年			月	日
意見		(3)							(3)	令和	年			月	日
	発病または負傷の年月日	令和	年	月	日		□発病 □負傷	発病または							
入するところ	労働不能と	令和	年	月	日 から			負傷の原因							
ع	認めた期間	令和	年	月	日まで		日間								
ころ	うち入院期間	令和	年	月	日 から		日間	療養費用の別	口依	建保	□公費()	転帰	□治癒	口中止
		令和	年	月	日まで		入院			自費	口その他			□繰越	□転医
			シ床ロナ		月	1234	15678	9 10 11 12 1	3 14 1	15 16 1	7 18 19 20	21 22	23 24 2	5 26 27 2	8 29 30 31
	診療実日数		診療日を 〇で囲ん ください。		月	1234	15678	9 10 11 12 1	3 14 1	15 16 1	7 18 19 20	21 22	23 24 2	5 26 27 2	8 29 30 31
		E			月	1234	15678	9 10 11 12 1	3 14 1	15 16 1	7 18 19 20	21 22	23 24 2	5 26 27 2	8 29 30 31
	上記の期間中に	_	-	び経過」「氵	台療内容、検	查結果、療	養指導」等	(詳しく)		h-	- ^				
										7年月1	日 令和	年		月	日
	この	ペー	ージに	医	師等	の療	養担	旦当者	ie R	皇年 日 1	日 令和	年		月	_
		1.14	-+=1	17	くださ	1.13			~		בויי ד			Я	日
		いけ	こだし	いて	くださ	い。					— ту т и			л	B
	記入						- 	П			ם היים			Я	B
							学的な所	見			J 1741	T		Я	B .
	記入						学的な所	見			- T24TL	T		Я	H .
	記入						学的な所	見			J 77/11	<u> </u>		Я	B
	記入						学的な所	見			J 72/11	<u> </u>		Я	H .
	記入						学的な所	見			、工肛門		、工関節	Я	H .
	記入 症状経過から。 人工透析を実	施し、人	の職種にな	Dいて労者 が を を を を を を を を を を を を を を を を を を	系不能と認め □昭和	かられた医		人工臓	器等		、工肛門	ים	↓工関節 → → → → → → → → → → → → → → → → → → →		Ħ
	記入症状経過から	施器	の職種につ	Dいて労者 が を を を を を を を を を を を を を を を を を を	系不能と認め □昭和	かられた医			器等	ינם עם	、工肛門 、工骨頭		ѝ臓ペース		
	記入 症状経過からの 人工透析を実または人工臓	施器	の職種にな	Dいて労者 が を を を を を を を を を を を を を を を を を を	系不能と認め □昭和	かられた医 □平成 月		人工臓 の種	器等類	ינם עם	、工肛門 、工骨頭 、工透析)
	記入 症状経過からの 人工透析を実または人工臓	施器人人	の職種にご	Dいて労者 が を を を を を を を を を を を を を を を を を を	系不能と認め □昭和	かられた医	□令和	人工臓	器等	ינם עם	、工肛門 、工骨頭		ѝ臓ペース		
	記入 症状経過から。 人工透析を実または人工機を装着したとき	施器・人人・	の職種にご	Dいて労者 が を を を を を を を を を を を を を を を を を を	系不能と認め □昭和	かられた医 □平成 月	□令和	人工臓 の種	器等類	ינם עם	、工肛門 、工骨頭 、工透析		ѝ臓ペース		
	記入 症状経過から。 人工透析を実または人工臓を装着したとき	施器・人人・	の職種にご	Dいて労者 が を を を を を を を を を を を を を を を を を を	系不能と認め □昭和	かられた医 □平成 月	□令和	人工臓 の種	器等類	ינם עם	、工肛門 、工骨頭 、工透析		ѝ臓ペース		
	記入 症状経過から。 人工透析を実または人工機を装着したとき	施器・人人・	の職種にご	Dいて労者 が を を を を を を を を を を を を を を を を を を	系不能と認め □昭和	かられた医 □平成 月	□令和	人工臓 の種	器等類	ינם עם	、工肛門 、工骨頭 、工透析		ѝ臓ペース		
	記入 症状経過から。 人工透析を実または人工機を装着したとき	施器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の職種にご	Dいて労者 が を を を を を を を を を を を を を を を を を を	系不能と認め □昭和	かられた医 □平成 月	□令和	人工臓 の種	器等類	ינם עם	、工肛門 、工骨頭 、工透析		ѝ臓ペース		
	記入 症状経過から。 人工透析を実 または人たとき 上記のとおり本 医療機関の所	施器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の職種にご	Dいて労者 が を を を を を を を を を を を を を を を を を を	系不能と認め □昭和	かられた医 □平成 月	□令和	人工臓 の種	器等類	ינם עם	、工肛門 、工骨頭 、工透析		ѝ臓ペース		
	記入 症状経過から。 人工透析を実 または人たとき 上記のとおり本 医療機関の所	施器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の職種にご	Dいて労者 が を を を を を を を を を を を を を を を を を を	系不能と認め □昭和	かられた医 □平成 月	□令和	人工臓の種	器等類	ינם עם	、工肛門 、工骨頭 、工透析		ѝ臓ペース		